

浦河高校のキャリア教育

北海道浦河高等学校
校長 小島 晶夫

1 学校概要

(1) はじめに

本校は北海道日高東部の浦河町に位置し、昭和7年に創立してから83年目を迎える。かつては工業科や水産科があり、実習船（アポイ丸）も配置されていた最大8間口であったが、現在は4間口12学級となっている。平成24年4月、北海道浦河高等学校（全日制普通科）と北海道様似高等学校（全日制商業科）が統合し、北海道で15番目の総合学科高校として新たなスタートを切り、昨年度初めての卒業生を出した。全国有数の軽種馬生産地である日高地方の充実した環境を生かし、馬術部が全国的に活躍している。

(2) 学校教育目標（目指す生徒像）

- 自立の精神を培い、自己実現に向かって努力する態度を養う。
- 健康な体と豊かな心を育み、他と協力して取り組む態度を育成する。
- 自然や文化を大切に、地域の発展に貢献する態度を育成する。

(3) 系列と特徴等

系 列	目 標	学 習 内 容 と 特 色
人文科学	人文科学系科目の学習を通して、我が国及び世界の国々の歴史や文化、社会などについて理解を深めるとともに、国際社会に主体的に生き国際貢献に寄与できる能力と態度を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 主として国語、英語、地理歴史や公民に関する科目を中心に学習する。 2 我が国及び世界の国々の歴史、文化などについて主体的に学ぶことができる力を身に付ける。 3 人文科学系、教員養成系の大学や短大、専門学校への進学を目指す生徒に適している。
自然科学	自然科学系科目の学習を通して、数学の基本的な概念や原理・法則、及び自然の事物・現象などについて理解を深めるとともに、数学的に考察し表現したり、科学的に探究したりすることができる能力と態度を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 主として数学や理科に関する科目を中心に学習する。 2 数学の基本的な概念や原理・法則、及び自然の事物・現象などについて主体的に学ぶことができる力を身に付ける。 3 理工系、看護・教員養成系の大学や短大、専門学校への進学を目指す生徒に適している。
情報・ビジネス	情報やビジネス系科目の学習を通して、情報及び商業に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けるとともに、経済社会の発展や社会の情報化の進展に主体的に対応することができる能力と態度を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 主として情報、商業に関する科目を中心に学習する。 2 情報及び商業に関する基礎的・基本的な知識と実践的な技術を身に付ける。 3 情報系、商業系の上級学校への進学及び公務員や民間企業への就職を目指す生徒に適している。
健康・生活	健康や生活、福祉系科目の学習を通して、スポーツ及び家庭生活、社会福祉に関する知識や技術を身に付けるとともに、自ら健全な心身の育成に努め、社会福祉の増進に寄与することができる能力や態度を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 主として保健体育や家庭、福祉、介護に関する科目を中心に学習をする。 2 スポーツ及び家庭生活、社会福祉に関する知識や実践的な技術を身に付ける。 3 体育系、福祉系、家政系の上級学校への進学及び公務員や民間企業への就職を目指す生徒に適している。
地域・文化	地域にかかわる科目や芸術、文化系科目の学習を通して、地域の自然環境などについて理解を深めるとともに豊かな情操を養い、地域の発展や活性化に必要な能力や、芸術文化の創造に寄与する態度を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 主として地域の自然や環境、芸術、文化に関する科目を学習する。 2 地域の自然環境などについて主体的に学ぶことができる力を身に付けるとともに、豊かな情操を養う。 3 芸術系、文化系の上級学校への進学及び公務員や民間企業への就職を目指す生徒に適している。

2 本校のキャリア教育

(1) 全体像

総合学科となった平成24年度より「ガイダンス部」を発足し、全体目標を4つの柱を軸に設定し、3年間を見通した系統的なキャリア教育を推し進めている。

ア 全体目標と4つの柱

※キャリア教育全体目標	
時代の変化にも対応し、主体的に社会に貢献し、自分の生き方を見つけていく土台を身に付ける。	
人間関係・社会形成能力	
1) 多様な考えや価値観を理解した上で、相手の考えを尊重した上で、自分の考えをわかりやすく、論理的に伝えることができる。	
2) 自分の置かれている状況を理解した上で、行動することができる。	
3) 積極的に社会に参画することができる。	
4) 多様な他者と力を合わせ、社会の中で自己の役割を果たすことができる。	
自己理解・自己管理能力	
5) 自分の能力や可能性について客観的、かつ肯定的に理解することができる。	
6) 社会の要望や状況に応じ、自らの思考や感情を律することができる。	
課題対応能力	
7) 日々直面する様々な課題を克服する方法を分析し、計画的にそれを実行し、試行錯誤しながらも解決に導くことができる。	
キャリアプランニング能力	
8) 多様な生き方に関する様々な情報（仕事・学校・進路決定の方法・社会情勢・労働観の変化・社会が求める人材など）を収集することができる。	
9) 収集した情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断して自分の生き方を主体的に選択していくことができる。	
10) 自分で行った選択を社会環境などに応じ、適切に軌道修正することができる。	

イ 実施形態

年次	実施授業等	単位数	内 容
1	産業社会と人間	2	職業人講話、職場見学、上級学校見学、系列科目選択、コミュニケーショントレーニング、ライフプラン発表 (以下、進路指導部主導) 進路講話、進路分野別説明会、合格者・内定者講話、模擬面接指導
2	総合的な学習の時間	2	課題研究 (以下、進路指導部主導) インターンシップ、進路講話、進路分野別説明会、合格者・内定者講話、模擬面接指導
3	総合的な学習の時間	1	課題研究 (以下、進路指導部主導) 進路セミナー

(2) 「産業社会と人間」における取組

上記「実施形態」に掲載されている通りだが、7月から始まる系列科目選択を前に、「働くこと」や「勉強すること」はどういうことなのかを外部の方の話を聞いて、生徒に考えさせる場面を作っている。地元の社会人の方々による「社会人講話」や、会社や上級学校で働くことや学ぶことの意義を聞く「企業見学」、「上級学校見学」を実施している。



【職業人講話：今年度は6業種で実施】



【上級学校見学：札幌近郊大学・専門学校で実施】

(3) 地域性を素材とした取組

恵まれた自然環境を生かした「日高の自然」という学校設定科目の中で、浦河町の軽種馬施設訪問や様似町のジオパークでの実地研修を行っている。また、町内には福祉施設が数多くあるため、健康・生活系列の授業では多くの外部講師に授業をしていただき、卒業生は管内の施設に就職し、活躍している。



【「日高の自然」：様似町にてかんらん石の調査】



【「生活支援技術」：福祉施設職員による実技指導】

(4) 成果と課題

ア 成果

総合学科になったことにより、進学・就職それぞれの希望者に合わせた多くの科目を設定することができ、1期生も進路決定100%を達成することができた。設立当初は総合学科がどのようなものか、地域の人々の認知度も低かったが、それも浸透してきている。

イ 課題

家庭や地域、学校関係者等への広報活動と連携の強化から、地域の特徴を生かした更なるキャリア教育の充実を図り、現状に満足せずに、より魅力のある学校づくりを目指す。